

令和4年度 学校評価(自己点検・自己評価)結果

○評価基準(4 十分達している、3 概ね達成している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

【令和3年度評価の平均値→令和4年度評価の平均値】

○令和3年度常勤職員27名→令和4年度常勤職員25名(回答率100%) ※夜間部を除く

○コロナ禍により中止・延期・変更になった活動も多かったが、令和3年度同様、自己評価は総じて高い結果となっています。

1 教育理念・目的・人材育成像

(1) 理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか

【3.74→3.79】

本校は開校以来、時代や社会の変化を的確にとらえ、業界で活躍できる人材の育成に取り組んでまいりました。

今後も、各学科・専攻において、学生の特性や業界のニーズを踏まえながら、「目指す学生像(ディプロマポリシー)」「教育課程編成方針(カリキュラムポリシー)」などを適宜見直し、デザイナー・クリエイターとして活躍できる人材の育成に努めてまいります。

(2) 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか

【3.56→3.71】

専門的知識・技能と社会人基礎力の習得を人材育成の柱と考え、教育活動を展開しています。文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」校として、各業界で活躍する現役のプロを講師に招いて、実践的な人材の育成を図っています。

また、年2回「教育課程編成委員会」を開催し、7名の外部委員からの意見を参考にし、社会・業界の変化に対応すべく、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーなどの見直しを行っています。

2 学校運営

(3) 目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか

【3.70→3.75】

各学科・専攻とも、学校目標や運営方針等を踏まえ、学生の実態や社会のニーズ等に応じて教育課程を編成し、これが実践できるよう講師陣の入れ替えを行っています。また、講師会議や教育課程編成委員会等においても課題を共有するなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図っております。

(4) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか

【3.63→3.75】

学校案内(パンフレット)をリニューアルし、高校生に興味を持ってもらえるようにホームページも刷新しました。また、TwitterなどのSNSも活用しながら、スピード感をもって情報発信を行っています。

3 教育活動

(5) 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか

【3. 78→3. 79】

各専攻の専門性を重視し、教育課程編成委員会での助言等を参考に、教育課程表や年間行事予定等を作成しています。また、コンペティションへの参加や校外学習、グループ制作展等を通じて、専門的な知識と実技のバランスに考慮した教育活動を行っております。

(6) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

【3. 63→3. 50】

学則をもとに教務規程を定め、成績評価や単位認定の基準に従って進級並びに卒業認定を行っています。これらの基準等については、入学後のオリエンテーションにおいて学生に説明しております。

コロナ禍に加え、発達障害やメンタルに不安を持つ学生が増えていることから、弾力的な運用を図っていますが、今後も時代に即したものとなるよう基準等の見直しに努めてまいります。

(7) 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか

【3. 60→3. 63】

「ビジネス能力検定」については、社会人基礎力向上を図るため、学科や専攻を問わず指導体制を明確にし、受検料の補助などを行って受検を促しています。

また、各専攻の専門分野に対応した各種検定についても、在学中受検が可能となるよう指導を行っています。

(8) 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか

【3. 52→3. 71】

『職業実践専門課程』に係る研修会」など外部研修会等への参加を促し、教員の資質向上に努め、人材育成に必要なノウハウを組織的に構築できるよう努めています。また、各学科・専攻においては、業界との結びつきを深め、各業界において積み重ねてきたキャリアを教育の場で活かすことができる講師の採用を行っております。

4 学修成果

(9) 就職率の向上が図られているか

【3. 56→3. 75】

就職課の専任が、入学後からガイダンスや面談を積極的に行う等、計画的・積極的に就職指導を行っております。また、校内での企業説明会を積極的に行い、人事担当者から求める人材や社会人として心構えなどを話していただく機会を設定し、学生の就職への意識高揚を図っています。

卒業後にフリーランスを希望する学生が一定数いるので、その対応が今後の課題です。

(10) 退学率の低減が図られているか

【3. 07→2. 88】

近年、不登校歴や発達障害、メンタルに問題を抱える学生の入学が増加しており、長期に及ぶコロナ禍も相まって、退学者が増加しました。

担任が中心となって、適宜適切に学生と面談したり、家庭と連絡を取りながら対応していますが、今後も、メンタルヘルスに関する研修会への参加、病院や専門機関と連携しながら、引き続き丁寧な指導に努めてまいります。

5 学生支援

(11) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

【3. 70→3. 71】

1年生の早期より就職ガイダンスや就職希望調査を行うとともに、インターンシップ、就職活動セミナーや企業説明会などの積極的な参加を促しています。また、就職課と担任との連携を密にし、三者面談などを通じて、求人企業と学生のマッチング等、学生一人一人の希望と特性を踏まえた指導を丁寧に行っています。

(12) 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

【3. 59→3. 65】

本校独自の各種奨学金・支援制度(給付型)を充実させ、入学する学生への支援を行っています。また、公的な奨学金や給付金などについても、校内において説明会を実施し、返済等将来を見据えた適切な利用について指導しています。

6 教育環境

(13) 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

【3. 22→3. 46】

学生一人一台端末に向けて整備を進めるなど、ICT環境の充実を図っています。また、インターンシップについては、コロナ禍において企業の協力を得て実施することができましたが、海外研修については、現下の状況を踏まえ国内研修に切替えて実施しました。

(14) 防災に対する体制は整備されているか

【3. 22→3. 58】

各室に管理責任者を置き、火気管理をはじめとして防火・防災等の分担責任を定めています。また、消防設備点検は業者により6ヶ月毎に実施するなど法にもとづいた各種点検を行っています。なお、校舎は耐震基準を満たしております。

7 学生の受入募集

(15) 学生募集活動は、適正に行われているか

【3. 56→3. 42】

広報部を中心に、高校訪問を積極的に行い、広報メディア等への原稿や学校説明等については、高校生が理解しやすいよう見やすさ、分かり易さに重点を置き内容

の精選を図っています。

(16) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

【3. 44→3. 33】

実践力を備えた人材の輩出が本校の第一の目標であり、その観点から就職率やコンペティション入賞等の成果を的確にホームページ等で公開し、学校案内でも紹介しています。

8 財務

(17) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

【3. 41→3. 38】

透明性の確保のため、財務諸表をホームページに公開しています。日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考指標としており、長年の無借金経営を継続し中長期的にも健全な財務基盤であり、経営状況は安定しています。

(18) 財務について会計監査が適正に行われているか

【3. 56→3. 46】

会計監査は監査法人により年3回(12、4、6月)実施し、その後本学園の会計監査を実施しています。財務について、適正な判断がなされておりホームページ上に公開しています。

9 法令の遵守

(19) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

【2. 96→3. 46】

「美専学園個人情報保護基本方針」を定めて、個人情報の保護に万全を期しています。個人情報保護法に基づき、出願者、入学者、学生はもとより、講師を含めた教職員の個人情報等に関しても、情報管理の一元化や管理体制の厳格化に努めております。

10 社会貢献・地域貢献

(20) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

【3. 19→3. 50】

コロナ禍により制約がありましたが、小学生の仕事体験事業(札幌市)や中学生の進路学習への協力、子ども対象のワークショップなど、できる限りの社会貢献を行いました。卒業制作展では、近隣の幼稚園や小学校に案内し、交流を深めることができました。

11 国際交流

(21) 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか

【一 →3. 50】

コロナ禍で派遣はできませんでしたが、3年ぶりにイギリスからの留学生を受け入れました。令和3年度に引き続き、リモートによって海外の大学と交流を行いました。